いずみ
発行所
福井県大野郡
和泉村公民館
印刷所　松浦印刷所

一大ダム実現か

十二部落 湖底に埋没？

九頭龍川上流ダムについて過般、村議会協議会に於いて発表されたものを簡単にお知らせします。ダムを計画する会社は

北陸電力株式会社
日本電源開発株式会社（国家資本によるもの）

の二つがある。村当局としてもどちらの会社がやるかどうかわからない。また日本電源開発株式会社の案はどういうものであるかもわからない。

北陸電力株式会社富山本店を打診しましたところ、同会社の案としては（村当局へ正式にいつてきたのではない）ダムは長野に於いて川底より一一四米後野に於いて八五米の各えんていを築き、長野より後野まで水路で石徹白川と合流して、また水路で大野市湯上地籍で発電する。

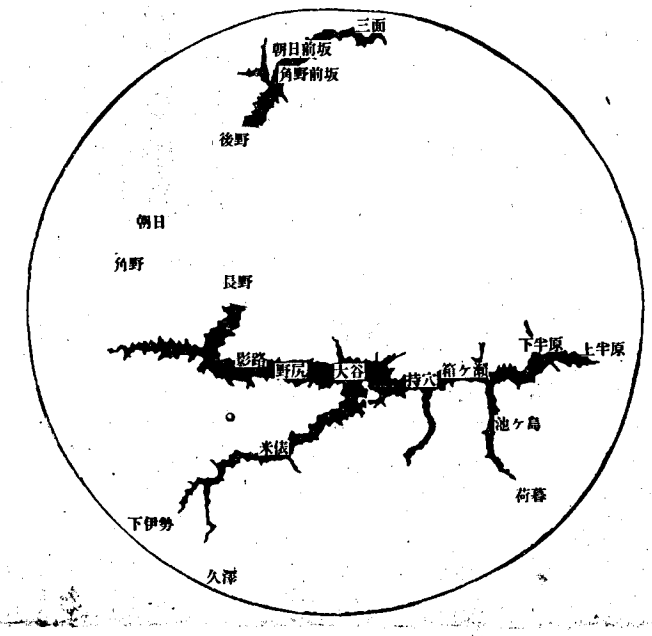
予算は大体三五〇億円

両方のダムの満水した時は海抜五五〇米　渇水期で海抜五一〇米まで浸水の予定。

この為に水没予想される部落は朝日前坂、角野前坂、三面大半、影路、野尻、大谷、米俵、持穴、箱ケ瀬、池ケ島、下半原、上半原の一部である。

村としては村の将来に極めて重大な事柄であるので慎重な態度をとり、次のように語っている。

水没部落の移住地、補償その他の問題を示さずして、いかに国家的重要な事柄であろうとも、この電力開発の調査のため人心が動揺することは困つたことである。然し今は調査中であるから各部落民は正式に表発があるまで今迄通り仕事に精励されるようお願いしたい。



ダム計画で水没する予定の部落（円径は15粁）

あっ！危い　交通事故

私の管内でも八月から十月十八日までに交通事故が七件生じています。殊に十月八日、長野芦谷の三輪トラック転落などで合計死者一名、重軽傷十一名の犠牲を出しています。

皆さん、特別の交通安全旬間だけでなく平素から交通規則を守り、事故を無くして住みよい村の建設に御協力をお願いします。それには

1 スピードを出しすぎない
2 酒のみ運転を止める
3 曲り角は警笛、徐行を忘れずに
4 トラックに乗らないように
5 無理な荷物は積まない
6 人は右側、車は左側を正確に
7 自転車の無灯火、二人乗りをしない
8 道路遊びをしない
9 道に物を出さないように
10 左右を確かめ道路を横切る

（朝日巡査部長派出所）

正副議長、各委員会委員ら決る

第6回定例議会

第六回和泉村定例議会は十月十五日和泉村役場に於いて開催され次の各条項が議決された。（敬称略）

議長選挙について
議長に三島定男
副議長選挙について
副議長に三島良助

和泉村常任委員会委員選任について

総務委員会（庶務、財務、消防及び他の委員会に属しない事項）
委員長　石神東洋
委　員　美濃島兼治、北正一、三島良助、谷口豊成、山本準人

文教厚生委員会（教育、社会、民生及び保健に関する事項）
委員長　山内守人
委　員　平野治、中森小一郎、江土木委員会

産業経済委員会（産業、経済、林野及び河川に関する事項）
委員長　山本清孝
委　員　池田庄次郎、周戸耕作、田村重次郎、長谷川磯

委員長　家木為則
委　員　谷口助三郎、宮本慶治、表正一、古世真一

和泉村農業委員会委員推せんについて

農業団体推せんのもの
三島勇、若山進

議会推せんのもの
伊藤操、野村敏雄、新井太郎、佐、田中市松

和泉村教育委員会委員の任命について

松下喜一（残任期間三十五年十二月六日まで）

国民健康保険運営協議会委員の任命について

被保険者代表のもの
任期一年　中山弘成、米倉武夫
〃　二年　池尾仁、吉川基

医師代表のもの
石神東洋、田中正

公益代表のもの
任期一年　中山重治、谷口豊成
〃　二年　美濃島兼治、宇野一雄

和泉村畜籍登録条例について

牛、馬の籍生る

和泉村畜籍登録条例が十月一日から施行されることになりました。この条例で取り扱う家畜は牛と馬で、農家が役場に届けなければならないことは次の通りです。

1 子畜が生産されたとき
2 牛馬を飼養するに至つたとき
3 牛馬を売却しまた譲渡したとき
5 その他畜籍整理事項に異動があつたとき

で十五日以内に届けが必要です。また牛馬を県内で移動したときは、速かに届けでて畜籍の謄本を家畜に添えて引き渡ししなければなりません。届け出のための様式用紙は役場に備えてあります。

林野庁長官賞は 和泉村 若山孫二氏へ

十月二十、二十一日、小浜市において行われた県木炭品評会に本村の出品者が次の通り入賞し万丈の気を吐いた。（敬称略）

林野庁長官賞
優等　若山孫二（影路）
一等　下西弥三郎（長野）
知事賞
〃　二等　森下助七（荷暮）
〃　二等　井南清雄（板倉）
〃　三等　美濃島慶一（上半原）
〃　中森二郎（下半原）
〃　池田久四郎（池ケ島）
〃　島内義右衛門
〃　池尾六松（米俵）
〃　古川政男（影路）
〃　谷英太郎（下山）
〃　村下憲治（上大納）
〃　宮内亀松（前坂）
〃　（荷暮）

炭木評会
県品

村民体育大会

手が震えて……村民体育大会に於ける婦人会員のリンゴ皮むき競走

（10.11 朝日中学校にて）

増収は稲の健康から

倒れさえしなければとか、イモチさえ出なければとの声は、より増収をねらつて失敗した人たちの言葉である。この言葉を裏返しすると「稲が健康でありさえすればもつと穫れた」という事になる。たしかに増収をねらうには、何よりも稲を健康体に育てあげる事が大切である。

それで稲の健康な姿というと「天地に調和した無理のない無駄のない姿であり、藁と実とがうまく調和が保たれている姿である」といえよう。コボレ麦はコボレ麦らしく小さい軀に小さい穂を、肥えた土地のよく手入された麦は、大きい軀に大きい穂をつけ、全く種類、品種が違つたようである。かように総ての作物は、自分が育つ環境に調和した育ち方をし藁と実とがちやんと釣合が保たれているものである。

上手に稲を作ると藁の目方と穂の目方は同じ位で、藁が一二〇貫あれば実も一二〇貫あり、藁と穂とが無理なく無駄なく調和し健康が保たれているものである。無理のない稲の育て方こそ儲かる稲作であり、自分の持ち田の力に相応した重さで藁と穂を同じ位取るのが稲作技術の秘訣といえる。まずれる限りこの悩みと迷いの解決どころではある。

稲作技術のかずかず

二つの増収技術

収量が穂数と穂重とからなり、おらが村の風土の中で調和を保ちつつより大きく確保する事が道すじであるとすると、増収技術を穂数増加技術と穂重増加技術との二つに大別する事ができる。これら二つの主な技術は次のようである

(1) 穂数増加技術
イ 薄蒔きし健全に育て大苗を植える
ロ 早植する
ハ 倒れない程度に密植する
ニ 活着良くし初期生育を早める
ホ 元肥を適量に施す
ヘ 中耕除草を適期に行なう

(2) 穂重増加技術
イ 土地改良を行つて耕地を健全にする
ロ 深耕する
ハ 地力を増す
ニ 施肥法を合理化する
ホ 土を良く乾す
ヘ 水のかけ引きを合理的に、特に生育後期の水のかけ引きに注意する
ト 病虫害の防除は早めに完全に
チ 品種の選択、苗は早植

これらの二つの技術は、藁できの良しあしが穂の大小に大きく響くといつたようにはつきりと区別されないが、どちらがやさしくどちらが難かしいかといえば、第二の穂重増加技術は非常に難かしいといえる。穂重増加技術の大部分は土地改良という壁にぶち当つてしまう。しかしこれからの稲作技術は第二の技術に重点をおかなければ進歩はなく、明かるい農村建設は望めない。（農業改良普及員）

副業には 有利な養豚を

豚は飼いがたし、くさくて嫌いだ、いままで私はこう思つておりました。

大ていの皆さんも、おそらくそうではないかと思います。ところが私は農業雑誌、新聞を読み、また農業改良普及員の方からいろいろと話を聞いて、私の考えは間違つていることがわかりました。

養豚こそ農家の副業として、女子供でもできる最も手軽で、しかも有利な副業だというのです。そうして養豚を一度やつてみようと思い立つたのが昨年の冬でした。

他の家畜でも同様ですが、自給飼料を高度に活用することが経営を有利にする唯一の道です。このことのいかんによつて、有利であるか否かがきまるといつても過言ではないと思います。ですから養豚を行うには、少くても半年分位いの飼料を確保しておかなければなりません。

ところが私が気付いたのは冬のことで、そうした飼料の貯えもなく雪どけを待つて養豚を始めようとした計画は少し冒険でありましたが、やることにきめ二頭の仔豚を注文し、四月には早くもかわいい二頭の仔豚が来ました。

幸い残飯のいいのがあつて仔豚は順序に発育し、みるみるうちに大きくなつてきました。その後も順調な発育をし、来た時は三貫たらずの仔豚は今大きい方は二十貫程になりました。

十二月暮に売るまでには二十五貫にはなると思います。その間、買つた飼料は大豆かす一俵、魚粉四貫、ふすま十八貫、米糠四十貫とうふかす十五貫で金額にして八千円ばかりでした。今後は米糠二俵程買えば自給飼料でいけます。十二月末までには一頭二十五貫になれば少くとも一万五千円位にはなり、二頭では三万円という計算になります。

最近、豚肉の需要は年々多くなり、県内では非常な肉の不足で県外から多く輸入されております。肉の需要は今後益々多くなる見込みで、この点から考えても今後の養豚の前途は非常に明かるいと思います。

養豚というと先ず飼料のことを心配されると思いますが、残飯もあるに越したことはありませんがなくともいくらでも飼うことができます。

野生の草でも、くず葉、おろの葉などは喜んでたべますし、野外の草でも豆科のものなどはよく食べます。青草をやることも養豚を行う上に大事な一つです。飼料作物では甘薯（養豚飼料としては絶好のもの）馬鈴薯、とうきび、青豆などの外に、ふすま、米糠、大豆かすなどをやれば順調に発育します。

畜舎も一坪あれば肥育本位ならば二頭は十分に飼えます。畜舎の床はコンクリートでタタキにしなければ不潔になります。二日に一度ぐらいは敷わらを替えてやり、便をとつてやればそうくさくもありません。堆肥もよいのが沢山できます。

皆さんも一つ飼つてみられては。

（下穴馬農協　吉川生）

自転車の車籍票

四日から七日までに取替

十一月四日から七日までは自転車車籍票（自転車の戸籍）の取替え期間になつていますから、自転車所有の方は全員役場まで来て下さい。この利点は

車籍票があるので不正な自転車が少くなり、盗難時の手配、犯人さがし、取戻しに便利です。

本県では一カ年に盗難にかかる自転車は約一、一二〇台ですが、この制度のため盗難減少は約四二％取戻しは三七％、金額で約二二〇万円となつています。

心の鍵も忘れずにかけましよう

（朝日巡査部長派出所）

教育委員交代

山内守人教育委員の村会議員当選に伴い後任に松下喜一氏（前村議）任命され、教育委員長には尾花寿太郎委員が選任された。

筆のさんぽ道

「いずみ」も早や三号発行となつた。歳月は流るる水の如しとはうまく言つたものだ。こうして村の歴史が一ページずつ刻まれていくことは意義深く喜ばしい。

○

秋深しの感を深くするきようこの頃、農事は実にいそがしい。その上冬将軍への準備に大わらわ、労働は過重にならざるを得ない。農村娘が農村に嫁ぐことを嫌う理由もこのことらしい。

農村娘の都会に出たがる傾向は全国的傾向とされ、かつ種々論議のまととなつている。しかし「近頃の嫁さんは」とすぐ言うが昔の嫁さんは果して喜こんで農村へ嫁入りしたのだろうか。

私はそうとは考えない。今も昔も奥底本心は同じであろう。昔は唯宿命と考え、口に出さず忍従したに過ぎないであろう。今は思うことをのびのびと発言できるようになつたにすぎないであろう。

農村生活を広い視野から批判できるとしたら大きな進歩で、かえつて喜ばしい事ではないだろうか

○

しかし農村への嫁ぎ嫌いは手離しでいるわけにはいかない。都会あこがれの娘さんに考えてほしい「農村社会が悪いから」でよいだろうか、苦しみに真向から立向かい、突破したもののみが幸福を握るものであることを考えてほしい

成果は優秀と折紙

大和小学校研究発表会

今春、県教育委員会より複式研究校の指定を受けた大和小学校は、稀に見る秋日和の十月二十三日、来賓として鈴木大野支局長、寺島大野市教育長、指導者として内藤大谷、野田の三指導主事及び大野郡市内学校から約六十名の参観者を迎え「へき地複式において自主学習をどのようにしたらよいか」（主として国語）を主題として、日頃の研究成果を発表し「極めて優秀な研究であつた」との講評を得、盛会の中に終了した。

発表会

朝日小四　未永みち子

プログラムを見ると一番先は阪谷の子です。次は私です。私はびくびくしました。前に立つとたくさんの先生がおられます。生徒もいます。私はかたくなりそうで、今言つたことが自分でわからなかつたが、だんだんなれてわかるようになりました。おわりころにはへいきで発表できました。

あとから大谷先生が、「大へんじようずだつたね」とほめて下さつたので、私はほんとうにうれしくてたまりませんでした。

教育討議に花が咲く（大和小発表会風景）

教育指導者の集り

県教委指導主事会議

来る十一月四、五の両日に亘つて県教育委員会の指導主事会議が本村に於て持たれ、県下の関係者二十余名が村内の学校教育を丹念に視察し討議することになつています。

四日は朝日中学校の村教育委員会主催の中学校研究会へ参加、五日は村内の各校（本校分校とも）へわかれて懇切な指導に当られます。

学校だより

各学校に石炭ストーブ

各学校教室に今年度から石炭ストーブを取付けることにいたしました。但し冬期分校は従前通り火鉢です。

テープ・コーダーで学校に協力（大納校PTA）

「僕らの学校にもほしいなあ」の子供たちの声に大納校PTAでは早速テープコーダー一台（二三、〇〇〇円）購入し、子供たちを喜ばせ学習効果を挙げている。

体験発表で深い感銘

大野郡市学校保健分会児童体験発表会は十月十二日阪谷小学校で行われ、朝日小学校四年末永みち子さんは「私たちの健康観察」と題し充実した発表を行い、参会者一同に深い感銘を与えた。

なおお母さんのきみよさんも共に参加、熱心に研究し関係者一同を感激させた。

村民体育大会（公民館）

村民体育大会（上地区）は来る十一月三日文化の日に午前九時より大和小学校で行うことに決定しました。全村民の参加を願います。

幼稚園舎着工（教委）

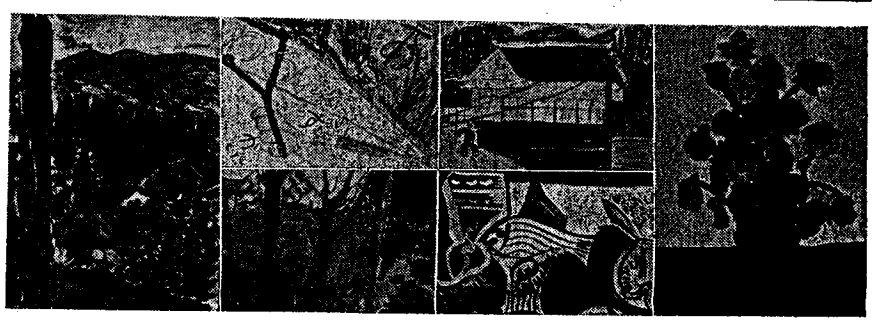
朝日幼稚園舎は大納長崎組が着工し、十一月下旬完工の予定。

優勝は藤原健祐君（朝日中学）に

和泉、石徹白両村中学校英語暗誦大会

和泉、石徹白両村内五中学校の英語暗誦大会は十月五日朝日中学校に於て行われ、福井大学島田教授の審査によつて次の通り授賞された。

一等　藤原健祐　朝日中学校
二等　井田雪子　大納中学校
二等　宮原正子　大和中学校
三等　土村公子　石徹白中学校
三等　長谷川俊成　日進中学校



（写真説明）右から大納中一山岸健二、右上大和小三若山ひろし　右下朝日中三藤原健祐、左上朝日小二尾崎みきお、左下日進中二中森拓夫左大納中三山岸達三

部落探訪 ②

油坂峠の句碑

油坂峠の頂上にある碑は、写真で見るようなすばらしい切り石で作られています。前面には

峰高ふ湧くは恵みの清水かな

の一句と作者名が美しい文字で刻まれています。

また左側面から裏面にかけて美しい文字で峠の通行人が清水をたたえた長文があり「千代」の文字もあり、その次に「舞う蝶も顔をうつせし清水かな」とあり、最後に文政四年、施主原佐次郎正勝の銘があります。

正勝は白鳥布屋のその当時の主人です。布屋は市布原家より二一七年前の元文五年分家、代々酒作りで酒名「元文」はこれに由来しています。この正勝は数代あとで白鳥方面から油坂道を開き、その記念に碑や地蔵を作つたようです。

正勝は文学好きで芭蕉の孫弟子となり名句も残しています。

碑の高さ二尺四寸、幅一尺四寸厚さ八寸、台石は幅二尺五寸、厚さ八寸、奥行き二尺で碑、台共に百貫近いでしょう。碑を頂上に上げるには背負う以外に方法はないので、近郷から力自慢を募り、一足三文で請負わせ大金を要したとのことです。また碑の横に南無阿弥陀仏の墓もあるが、四十年後、大野、勝山、白鳥の有志が作つたとのことです。

頂上に立つて「峰高ふ」の句を口ずさむと往時がしのばれ、尽きせぬ句の味わいを感じます。

しかし残念ですが、私どもはこの句の作者の履歴をしりません。このことについてご存じの方は筆者までお知らせを願います。

（木島記）

（写真は峠の句碑）

人の動き

（誕生）

朝日　中村　邦典　長男　啓一
大谷　若山　市造　四女ゑみ子
野尻　広瀬　喜一　長女　薫
下半原　石神　仁市　五女　明子
大谷　若山　金夫　長女登紀子
朝日　表　由夫　三男　清和
持穴　長谷川久雄　二男　林龍
久沢　周戸　政治　二女　和美
伊勢　若山　実　六女　節子
下半原　木島　輝夫　長女美保子
東市布　田中　充　長男　元次
上大納　山崎　隆義　長女　曜子
上大納　山田　隆一　長女留里子
上大納　島田　修一　長女真由美
上大納　名村　義三　長女　順子

（死亡）

上大納　藤田　市太郎（五一）
勝山市北谷町　山内二美恵（二）

（婚姻）

▽大野市神明　中村　剛
和泉村下山　下東　菊栄
▽和泉村面谷　鳥山　卓男
和泉村箱ケ瀬　美濃島　末子
▽和泉村朝日　大嶋　静雄
吉田郡上志比村　山下　裕恵
▽大野市厳生　広瀬　千里
和泉村米俵　池尾　やすゑ
▽和泉村東市布　田中　春治
郡上郡白鳥町　藤代　綾子
▽和泉村角野　川端　稔
内郷市宮町　渡辺　元子
▽和泉村下半原　横山　春男
名古屋市中区　二村　文子
▽守山市守山　今村　博
和泉村久沢　周戸　千代子
▽新井市飛田　鹿住　博昭
直江津市　佐藤　一美
今立郡池田村　田中　生夫
谷端　啓子

俳句

大和中三　若山　宣子

さんま焼く　煙も楽し母の顔

朝日小　森尾　晴美

秋のくれやみ夜に働く親子かな

日進中三　島内　智子

伊勢の夜眠れぬままに日の出待つ

日進中　阿部　彰三

秋の朝鹿の声聞く奈良公園

短歌

大納小　松本　柏風

秋晴れのよき日つづけり刈小田に
もずの鋭声の澄みて透りつ
追憶の日々　深みゆく夜の部屋に
瞳をとじて　聞く風の音
善悪を訓せど眼そらなる
この遅滞児に涙こぼるる
いさかいて叱られたりし七人の
教え子の側にわれも座りつ

大和中二　池尾　恵代

長かりし　炭焼きがまを片づけて
振り返えりつつ山を下り来る

詩

秋の山

朝日小五　山田えい子

もう秋だ
あちこちの　山々も
ゆうぜんの着物を着たようだ
ああ　美しき秋の山
私もちよつと　着てみたい

僕らの先生

大納中二　角田　司良

僕らの先生は　非常に若い
顔は平凡　髪の毛黒く
六尺豊かな　長身で
バットのような　太腕に
一万円の時計が光る
めつたに先生　叱らない
おこつた時は
爆発山も　止りそう
僕らの先生は　想理的

（中竜俳壇）

松橋紀代二

鶏頭に落選の怒気沈め居り
江島　才干

帰燕不図憶へば音信途絶えたり
河口みよ子

台風過家計簿にまた赤字ふえ
杉本　政子

芝野をいで芒野を行くばかり
武田　竜女

花むしろ敷きままごとや去ぬつばめ
佐々木一穂

水盤に鶏頭一枝妙をます
内山　志保

崖くずれ伝ふ葛の葉のり越えて
中出　芳乃

おぼえなき蔭にコスモス花もちて
桐林　桐花

鶏頭の燃えて庭園色めけり
猪俣　信也

守衛きて台風情報書き換ゆる
福沢　竜峰

鉱夫の婚紅葉月下に霧を脱ぐ

修学旅行

日進中三　長谷川俊成

線路の両わきに広がる
黄金の田
広い、広い、黄金の田
その広い田の所々に
鳴子かわりの銀紙が
秋風に吹かれてきらりと光る
二、三羽の白さぎが
黄金の田からとびたつた
広い広い平野が切れた
向うに伊勢湾が広がる
初めて見るきれいな海
青い中に
白帆をはつたヨットが
浮んでいる
誰かを呼ぶかのように
風いつぱいうけて……

巡回図書各部落へ

図書案内

和泉村青年団では、公民館図書二〇〇冊　県立図書館より一二〇冊　計三二〇冊を図書巡回箱七個に分け各部落十五日毎に巡回しています。一般の方も御利用下さいますようお願いします。

インフルエンザ撃退歌

うがいを　度々忘れずに
手洗いていねい　よく洗い
食べすぎしないでよくかんで
三色食物　とりまぜて
からだを大事に使いましよう
早寝　早起き　深呼吸
早期発見　すぐ医者へ
マスクを忘れず　人中へ
病気の時は　すぐ休み
元気になつて　登校し
他人に病気　移さずに
よい子の勉強はげみましよう

（下穴馬診療所）

婦人のくらし

ああ、そのみ声その温容

婦人会　古川　信子

きようはいよいよ最後の三日目だ。いつものように桔梗門から入り次に吹上御苑前に来た。

「きようは仕事はあまりしてもらいません」と係の人に引率されてまず賢所参拝、紅葉山に登つた。

紅葉山というと何か豪華な王宮の庭園を連想していたが意外、田舎の山道だ。雑草が道を埋める程繁茂している。所々に茶亭があり樹木だけはさすがに徳川幕府からの老樹が天を摩して立つていた。

御養蚕所は質素な農家風の建物で樹々の茂みを通して道灌堀が見えていた。

紅葉山をおりると吹上御苑の御門の前に整列して陛下をお待ちする。間もなく侍従の案内で徒歩で出てこられた。最敬礼はしなくともよいと教えられていたので両陛下のお顔をよく拝することが出来た。

「皆さん勤労御苦労でした。日本も国民の努力によつて復興したことを喜ぶ……」ああ、そのみ声、その温容、戦い破れて神の座をおり給いし尊き御身を、僅か一間前に見るきようの感激、両陛下とも極めて御質素な御洋服、天皇様の御頭髪には白いものが半分程、皇后様は御写真とははるかに容姿ご端麗、御盛装の昔はさぞかし…と故知らぬ涙が止めどなくほほを流れた。

その後で一同恩賜のタバコを戴き、伏見やぐらの前へ出て記念写真をとり、二重橋を渡つて戻り、西橋から眺望こよなき汐見坂をおりて馬車庫、百人所など見て名残り惜しくも皇居を退出した。

編集後記

◇御健勝で何よりと存じます。秋の収穫に大童でしよう。万山紅葉の背後にしのび寄る白いものも、時たま胸中をかすめる頃となりました。

◇「いずみ」の御愛読と御激励を感謝します。原稿が非常に多く選択に編集子一同は苦しみました。掲載もれの方にたいし心からお詫びいたします。ぜひ次回掲載したいのもあります。四号は十二月一日発行予定ですから御期待下さい